

たあとるほいくえん

東三国ヶ丘園

2022年度 職員自己評価集計結果 (回答数 10)

1 要改善 2 要検討 3 普通
4 良い 5 たいへん良い
★ 良いところ
★ 改善点(策)

保育の計画性

	1	2	3	4	5
たあとるほいくえんの保育理念・方針を理解し、達成できるように計画を立てている。	-	1	2	3	4
子ども一人ひとりの発達過程や興味を把握し、計画を立てている。(月案・個人計画)	-	-	3	4	3
保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	-	2	1	3	4
評価結果をもとに保育の改善に努めている。	-	-	3	3	4
楽しい雰囲気の中で、安定してあそべる環境構成を考えている。	-	-	2	2	6
配慮の必要な子どもには、その子に応じた計画を立てている。	-	-	2	3	5

- ★ 少人数で、一人ひとりの性格を知ることができ、接することができた。
- ★ 提出期限を守る。
- ★ 担任間で話し合いながら、計画を立てて、保育に取り組んだ。
- ★ 相談を大切に、実践に取り入れていく。
- ★ 子どもの興味や発達段階に合った計画を立て、実行できるように務めた。
- ★ クラス単位だけでなく、全職員での話し合いを密に行い、保育計画を立てることで、より良い園づくりを行っていきたい。
- ★ 子どもが楽しいと思えるような活動を取り入れることができた。
子どもが楽しめるよう、自分自身も楽しんで、活動に参加することを心掛けた。
- ★ 保育理念や方針を意識して、保育していなかったのも、きちんと理解し、保育できるようにしたい。
- ★ 月案・個人計画で、こども一人ひとりの目標を明確にすることにより、その子に応じた援助をすることができた。
- ★ 目標・計画に対して、結果がそぐわなかった時の対処(関わり方・援助の仕方)として振り返り、再検討する。

子どもとの触れ合い・対応

一人ひとりの人権を大切に関わっている。	-	-	1	4	5
一人ひとりの思いを受け止め、思いをできるだけ実現してあげようとしている。	-	-	1	6	3
一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている。	-	-	1	7	2
一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている。	-	-	1	3	6
子どもの手本となる言葉使いや挨拶が出来ている。	-	1	5	2	2
子どもの名前は呼びすてにしていない。	-	2	2	2	4
すべての子どもと公平に関わっている。	-	-	1	5	4
オムツ交換・お着替え時は、優しく声掛けし、スキンシップをとっている。	-	-	1	4	5
必要以上に「禁止・命令・行動を急かす・自信を失わせる言葉や態度をしていないか。	-	1	1	6	2
子どもに対する適切な言葉遣いができている。	-	-	2	6	2

- ★ 褒めて自信に繋がるような声掛けをするように、心掛けた。
- ★ 慣れ過ぎないようにする。
- ★ 子どもたちのしたいことを中心に盛り上げ、みんなで楽しさを共有しながら、過ごすことができた。
- ★ 楽しい環境を作るために、事前の準備を正確に行うことが出来るようにしていきたい。
- ★ 一人ひとりとの会話やスキンシップを丁寧にじっくり関わるように心掛けた。
- ★ 禁止や「早く」といった言葉掛けが多かった。子どもの思いに寄り添いながら関わっていききたい。
- ★ こども一人ひとりの性格を理解し、関わる事ができた。
- ★ 子どもとの関わりの中で、無意識に名前を呼び捨てにしたり、「だめ」等のマイナスな言葉を掛けてしまうこともあるため、来年度は意識して関わっていききたい。
- ★ 笑っている時、泣いている時、起こっている時など、子どもの思いを受け止めることができるように関わる事ができた。
- ★ 気持ちに余裕がない時があったが、常に穏やかに子どもに接していききたい。

保護者への対応

園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	-	-	1	7	2
子育てパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	-	-	1	7	2
送迎時に子どもの姿(ケガ含む)を必ず伝えている。	-	-	1	5	4
丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	-	1	-	6	3
親しくなったからといって、ため口や友達同士のような話し方、上から目線で会話をしていないか。	-	-	1	3	6
すべての保護者と公平に関わっている。	-	-	1	3	6
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	-	1	-	4	5

- ☆ まずは、挨拶を元気よく、様子を想像できるような伝え方を行った。
- ☆ インターホンごしで名前をしっかりと確認する。
- ☆ 一日の中で子どもたち同士の関りを中心に伝えるようにした。
- ☆ より伝わりやすいような言葉選びをしていく。
- ☆ その日あったことや成長に気づいたことを丁寧に伝えるよう心掛けた。
- ☆ 保護者の抱えている、子育てにまつわる困っていることに気づき、寄り添いながら、改善策等をいっしょに考えていける存在になりたい。
- ☆ 園での様子や活動内容を伝え、保護者が子どもと離れていても安心できるような対応を行って生きた。
- ☆ もっと保護者に信頼を持ってもらえるよう、来年度は、反省を生かして保護者対応を行っていきたい。
- ☆ 笑顔を決やらず、対応することができた。
- ☆ 保護者に不快な思いをさせないように、発言に気をつけたい。

自然や社会との関わり(散歩・戸外あそび)

適度に園庭やお散歩に出掛けている。	-	-	-	2	8
生き物や植物を大切にしている。	-	-	-	5	5
近隣地域の人、来園者に明るく挨拶ができています。	-	-	-	4	6

- ☆ 通りすがりの方にも、保育者から挨拶することで、子どもたちも挨拶していた。
- ☆ お散歩コースを増やす。
- ☆ 戸外だけでなく、室内でも生き物と触れ合うことができるように環境を作った。
- ☆ 積極的に戸外遊びや散歩を取り入れ、身体を動かせるようにした。
- ☆ 園で育てている植物や生き物に興味をもてるような目標を立て実行する。
- ☆ 子どもが様々な環境(物)に興味を持てるような言葉掛けを行い、散歩や戸外の遊びに取り組むことができた。
- ☆ 散歩中、手を繋いでいる子どもが転げて受け止められず、怪我をしてしまうことがあったため、靴が脱げそうになっていないか出発時に確認する。
- ☆ 散歩時は、周りの自然に気づくように声掛けをしたり、子どもたちといっしょに歌を歌ったりしながら、楽しい雰囲気を作ることができた。
- ☆ 常に安全に楽しく遊べるよう、危険箇所の把握に努める。

保育士としての能力(良識・適正)及び態度(姿勢)

園内・園外研修に積極的に参加している。	-	3	4		3
自らの保育を振り返り、第三者の意見を聞きにしている。	-	-	6	1	3
自らの保育を振り返り、第三者の意見を取り入れている。	-	-	3	4	3
自身の保育を振り返り評価反省を行い、次の保育に生かしている。	-	-	4	5	1
まだ、自分にできることはないか、協力できることはないか自ら声をかけている。	-	-	2	4	4
自己の体調を管理し、他職員に迷惑をかけないように努めた。	1	-	1	2	6
子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情(相談)等、必要なことは、施設長(管理者)や主任に「報告・連絡・相談」している。	-	-	5	3	5
園の消耗品や教材は節約して使っている。	-	-	1	2	7
職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていないか。	-	-	2	1	7
他の保育士の意見を尊重できている。	-	-	3	5	2

提出物を期限内に提出できている。	-	-	2	6	2
------------------	---	---	---	---	---

- ☆ 自分が楽しみながら、保育を行えている。
- ★ ピアノ伴奏の予習に励みたい。
- ☆ 手洗い・消毒を小まめにし、体調管理に気を付けた。
- ☆ クラス担任間で話し合い、連携を取り合いながら保育ができた。
- ★ 業務や保育内容を丁寧に伝え、相談しやすい環境づくりを行う。
- ★ 保育士と施設長の間に入り、きっちりと「報告・連絡・相談」を行う。
- ☆ 保育に関する悩みなど、他の先生に相談することができたため自身を持って保育することができた。
- ★ 月案など、ギリギリに提出してしまったので、前もって作成する。
- ☆ 自分自身が不安に思っていることや、悩みを一人で抱え込まないで、相談することができた。
- ★ まだまだ自分自身に自信が持てないので、信頼される存在になれるよう、日々努力していく。

安全面及び衛生面

給食及び間食を提供の際は、アレルギー食の配慮や工夫がされている。	-	-	-	2	8
施設設備や園庭、お散歩道中の危険箇所を把握し、安全点検を行っている。	-	-	1	3	6
常に危険を予知して保育に取り組んでいる。	-	-		5	5
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている。	-	-	1	3	6
保育室の換気、温度・湿度に配慮して保育している。	-	-	-	2	8
子どもの健康状態やケガを記録し、職員間で把握できている。	-	-	-	2	8

- ☆ 担任間で声を掛け合いながら、確認することを忘れずに行った。
- ★ 担任だけでなく、すべての先生で把握していくようにする。
- ☆ 避難訓練を通して、予め危険箇所を把握し、より安全な環境を整えた。
- ☆ 園児の健康状態を把握してきた。
- ☆ 子どもの体調の変化や健康状態をしっかりと見ながら保育できた。
- ★ 感染症で欠席した際の対応など、曖昧な部分もあったので、看護師と連携を取りしっかりと保護者に伝えられるように努力したい。また、そのための知識や発信力も養っていきたい。
- ☆ 保育者同士で連携を取り合い、子どもの状態などを把握できたため、様々なことに臨機応変に対応することが、できた。
- ★ 来年度もさらに、連携を取り合い子どもの安全を見守っていきたい。
- ☆ 給食が苦手な子に対して、量を減らし完食する喜びを味わわせることにより、食べる意欲を引き出すことができた。
- ★ 避難訓練や園内研修を重ね、怪我や緊急時の素早い判断力や行動力を身に付けていく。